

不動産事業のラ・アトレ、名古屋市の 終末期ケア・在宅ホスピス型ホームを取得

ラ・アトレ <http://www.lattrait.co.jp/>

新

築不動産販売から不動産管理まで多様な不動産事業を展開している(株)ラ・アトレは、6月19日、名古屋市南区に所在する住宅型有料老人ホーム「ナーシングホームOASIS南」(総居室数34室)を取得した。同社は2015年3月にも同じく名古屋市のサービス付き高齢者向け住宅「ナーシングホームJAPAN」と「ナーシングホームOASIS」の2棟(入居率95%以上)を取得しており、名古屋市での保有物件は今回で3棟めとなる。すでに16年には「ツクイ札幌稲穂」(札幌市手稲区、デイ・訪問介護・居宅介護支援)、「ラ・ヴィ南浦和」(埼玉県川口市、住宅型有料老人ホーム)と2棟を取得、計5棟を保有している。

名古屋市で3棟を運営する事業者はナースコール(株)で、末期がんや難病患者、重度要介護者など医療依存度の高い高齢者等に高水準の医療サービスから看取りまで一貫して行なう「24時間対応の終末期ケア」を専門とする介護オペレーター。前記3棟はいずれも同社が運営する「緩和ケア・在宅ホスピス」に特化した高齢者住宅・施設。なお、この3棟はいずれもエンジン・パートナーズ(株)が取得時の事業デューデリジェンスやアドバイザーなどを務めており、これら3社は今後とも協働してニーズの高い高齢者住宅事業を積極的に手掛ける方針。



新たに取得した「ナーシングホームOASIS南」